

相場を究める 相場を楽しむ

荒野 浩の 市場分析

Market View

(第74回 2022.2.2)

1月相場から2月相場を探る

MR225Y (日経 225) - 日足 - ローソク足 (始, 高, 安, 終値) 2022/02/01 L=27,194.66 +192.68 +0.71%

移動平均線 3 本 (Close, 5, 20, 60, 0) 26,819.122 27,868.522 28,540.794



1月は強い売り圧力の下での高い変動率

気になる予想1株当たり利益の伸び悩み

2月相場のポイントは空売り比率と日中変動率と企業業績

(12月相場と1月相場の比較)

日経平均	12月	1月	前月比
(月中平均)	28,514円	27,903円	▲2.1%
(月末値)	28,791円	27,001円	▲6.2%
(RSI)	58.3	36.8	▲21.5
空売り比率	42.4%	45.6%	+3.2%
日中変動幅	312円	482円	+170円
日中変動率	1.09%	1.73%	+0.64%
日経平均VI	21.60	23.29	
×空売り比率	915	1,062	
騰落レシオ	114.1%	83.3%	
PER (倍)	13.69	13.71	
EPS (円)	2,082	2,035	
PBR (倍)	1.25	1.25	
BPS (円)	22,853	22,248	
ROE (%)	9.11	9.15	

1月相場は不安定な相場

空売り比率の45.6%は月中平均としては過去最高です。

日中変動率は普通は1%前後に収れんするもので、

1.73%は異常に高い水準。

高い変動率は多くの場合、株価が下振れしているときに起こる現象

相場の安定度を測る時に（空売り比率と日経平均VI）の積を用います。

相場が安定しているときには500~800ほどの範囲に収まりますが、

1月は1,062と1,000を超え、不安定さを増しています。

気になるのは予想1株当たり利益の伸び悩み

予想EPSは9/15に2,177円まで拡大しました（高値は9/14）が、

足下の予想は2,000円台前半まで低下してきています。

10~12月期決算を通過しても上方修正の流れが戻らなければ、

日本株が上がる勢いは戻らないことになってしまいます。

2月相場の三つのポイント

空売り比率（5日平均）は足下で9日連続で45%以上を記録しています。

**2月相場で空売り比率（5日平均）がピークを打って、
空売り比率の低下とともに株価が戻る流れを取り戻せるか。**

高い変動率の不安定な相場から脱け出し、落ち着いた相場に戻れるか

**予想1株当たり利益が10～12月期決算を通過した後、
上方修正の流れを取り戻すことができるか。**